

令和2年度業務実績表

(令和3年3月31日現在)

項目	A	B	比較		増減理由	備考
	令和2年度	令和元年度	(A-B)C増減	C/B増減率(%)		
1. 総人口	282,925 人	284,682 人	△ 1,757 人	△ 0.6		
2. 計画給水人口	274,300 人	274,300 人	0 人	-		
3. 現在給水人口	277,419 人	278,474 人	△ 1,055 人	△ 0.4		
4. 給水戸数	127,861 戸	127,406 戸	455 戸	0.4		
5. 普及率	98.1 %	97.8 %	0.3 ㊦	0.3		$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{総人口}} \times 100$
6. 導送配水管延長	1,641,939 m	1,639,858 m	2,081 m	0.1		
7. 配水能力	m ³ /日 112,020	m ³ /日 112,973	m ³ /日 △ 953	△ 0.8		
8. 年間総受水量	29,986,254 m ³	29,807,440 m ³	178,814 m ³	0.6		
9. 年間総配水量	30,149,814 m ³	29,973,049 m ³	176,765 m ³	0.6		
10. 年間総給水量	28,340,945 m ³	28,091,175 m ³	249,770 m ³	0.9		
11. 年間総有収水量	27,210,672 m ³	26,961,370 m ³	249,302 m ³	0.9		
12. 一日最大配水量	98,603 m ³	91,052 m ³	7,551 m ³	8.3		
13. 一日平均配水量	82,602 m ³	81,894 m ³	708 m ³	0.9		$\frac{\text{年間総配水量}}{365 \text{ 日}}$
14. 一人一日最大配水量	355 ℓ	327 ℓ	28 ℓ	8.6		$\frac{\text{一日最大配水量}}{\text{現在給水人口}} \times 1,000\ell$
15. 一人一日平均有収水量	269 ℓ	265 ℓ	4 ℓ	1.5		$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{現在給水人口} \times 365 \text{ 日}} \times 1,000\ell$
16. 有収率	90.3 %	90.0 %	0.3 ㊦	0.3		$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総配水量}} \times 100$
17. 職員数	113 人 (103 人)	104 人	9 人 (△ 1 人)	8.7 (△ 1.0)		上段: 会計年度任用職員含む 下段: 上記職員含まない
18. 損益勘定所属職員数	86 人 (78 人)	78 人	8 人 (0 人)	10.3 (-)		上段: 会計年度任用職員含む 下段: 上記職員含まない
19. 資本勘定所属職員数	27 人 (25 人)	26 人	1 人 (△ 1 人)	3.8 (△ 3.8)		上段: 会計年度任用職員含む 下段: 上記職員含まない
20. 負荷率	83.8 %	89.9 %	△ 6.1 ㊦	△ 6.8		$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日最大配水量}} \times 100$
21. 施設利用率	73.7 %	72.5 %	1.2 ㊦	1.7		$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{配水能力}} \times 100$
22. 最大稼働率	88.0 %	80.6 %	7.4 ㊦	9.2		$\frac{\text{一日最大配水量}}{\text{配水能力}} \times 100$
23. 配水管使用効率	m ³ /m 18.36	m ³ /m 18.28	m ³ /m 0.08	0.4		$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{導送配水管延長}}$
24. 固定資産使用効率	m ³ /万円 7.15	m ³ /万円 7.11	m ³ /万円 0.04	0.6		$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{有形固定資産(万円)}}$
25. 供給単価	235.58 円/m ³	237.84 円/m ³	△ 2.26 円/m ³	△ 1.0	水量料金収入の減による減	$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}}$
26. 給水原価	226.50 円/m ³ (224.45 円/m ³)	220.84 円/m ³	5.66 円/m ³ (3.61 円/m ³)	2.6 (1.6)	経常費用の増による増	$\frac{\text{経常費用}-\text{受託工事費}-\text{長期前受金戻入}}{\text{年間総有収水量}}$ ()書き数値は、災害復旧事業を本来執行すべき特別損失として執行した場合の数値
27. 供給損益	9.08 円/m ³ (11.13 円/m ³)	17.00 円/m ³	△ 7.92 円/m ³ (△ 5.87 円/m ³)	△ 46.6 (△ 34.5)		供給単価-給水原価 ()書き数値は、災害復旧事業を本来執行すべき特別損失として執行した場合の数値
28. 職員一人当たり給水人口	3,226 人 (3,557 人)	3,570 人	△ 344 人 (△ 13 人)	△ 9.6 (△ 0.4)		$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{損益勘定所属職員数}}$
29. 職員一人当たり有収水量	316,403 m ³ (348,855 m ³)	345,659 m ³	△ 29,256 m ³ (3,196 m ³)	△ 8.5 (0.9)		$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{損益勘定所属職員数}}$
30. 職員一人当たり営業収益	76,312 千円 (84,139 千円)	千円 84,243	△ 7,931 千円 (△ 104 千円)	△ 9.4 (△ 0.1)		$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{損益勘定所属職員数}}$
31. 職員一人当たり有形固定資産	373,166 千円 (409,396 千円)	千円 405,217	△ 32,051 千円 (4,179 千円)	△ 7.9 (1.0)		$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{全職員数}}$